

# 第50回 中部建築賞 2018



応募期間 平成30年8月1日(水)～8月31日(金)

50周年記念シンポジウム「中部建築賞の50年(仮)」を開催します。

日 時：平成30年12月10日(月) 表彰式当日 13時～14時30分

場 所：名鉄ニューグランドホテル

パネラー：五十嵐太郎、栗生 明、瀬口哲夫、水野一郎ほか(敬称略)

詳細は、10月下旬ホームページにてお知らせします。

## 募集要綱

### 1. 目的

「持続可能な社会」を目指す時代の要請に応えて、地域と環境に根ざしている優れた建築作品を表彰することにより、中部圏の建築文化の向上と地域の発展に寄与する。

### 2. 応募作品

次の条件に該当するものとする。

- (1) 平成30年3月31日までに竣工した新築、改修、修復等がなされた建築物(一団の建築群を含む。)で、作品点数は制限しない。

「一般部門」 公共・文教・生産・商業・厚生・集合住宅・団地計画・都市開発・都市公園などを含む建築物等で規模の大小は問わない。

「住宅部門」 主要用途が住宅。(集合住宅を除く。)

- (2) 作品は、中部圏(愛知・三重・岐阜・静岡・福井・石川・富山・長野・滋賀の9県)内で実施されたものとする。
- (3) 建築確認等が必要なものについては、その手続きが(1)の期日までに完了していること。

### 3. 受賞者 建築主・設計者・施工者の三者とする。

### 4. 応募要領

- (1) 本会所定の申込書に記入し、下記の添付図書を添えて、期日までに建物の所在する各県の加盟団体を經由して提出するか、または直接当協議会へ提出とする。

#### (2) 添付図書

下記①～③の内容をA3版用紙にまとめ、市販のクリアファイル(ブック形式)に収め、その表紙には作品名称のみを記載する。添付図書は20頁を上限とし建築主名・設計者名・施工者名は一切記載しない。A3版の縦使い・横使いは自由とする。なお、すべての添付図書についてPDFファイルにし、1つのファ

イルに合成してCD-Rで提出する。(ファイル全体の大きさは20MB以下とし、CD-Rには作品名称を記入すること。)

#### ① 説明文

企画、設計、施工の各段階において、特に工夫あるいは配慮した内容等を記述する。竣工年月日、総工事費も記載する。一団の建築群を応募する場合は、各建築物の内訳も記載する。

#### ② 図面

案内図、配置図、各階平面図、立面図、断面図、その他特に強調したい部分の詳細図等

#### ③ 写真

大きさは自由とし、カラーかモノクロかも問わない。(作品の外観4面及び遠景写真は必須とする。ただし、撮影不可能な場合はこの限りではない。)

### 5. 応募料

応募作品1点につき一般部門は38,000円、住宅部門は15,000円とし、応募作品提出時に下記あてに振り込む。

(中部建築賞協議会に直接持参可)

\* 応募料振込の場合は、下記あてとする。

三菱UFJ銀行 栄町支店  
店番号281 普通預金  
口座番号 0839946  
中部建築賞協議会

### 6. 申込書提出(問合せ)先及び提出期間

提出(問合せ先)「中部建築賞協議会」  
〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26  
昭和ビル2F 東海建築文化センター内  
TEL (052) 262-0838  
FAX (052) 262-0839  
提出期間 平成30年8月1日(水)  
～8月31日(金)

\* 郵送等で送る場合は、9月3日(月)必着とする。

### 7. 表彰及び発表

一般部門・住宅部門ごとに審査し、両部門を合わせ次の通り表彰する。

入賞 10点内外

入選 10点内外

特別賞 若干(特別の評価等を得た場合)

建築主に表彰状及び記念銘板(住宅は記念楯)、設計者及び施工者には表彰状及び記念楯を授与する。表彰作品は12月上旬に一般紙及び業界紙等へ発表、12月10日に表彰式を行う。

### 8. 審査員

栗生 明	建築家(審査員長)
尾崎 公俊	建築家
加茂紀和子	建築家
川崎 寧史	金沢工業大学環境・建築学部 教授
車戸 慎夫	建築家
鈴木 利明	建築家
関 邦則	建築家
吉田 純一	福井工業大学 客員教授

### 9. その他

- (1) 応募に当たっては、建築主、設計者、施工者ともに、必ず合意の上で申込んでください。
- (2) 一次審査で選出の表彰候補作品は、現地審査を行うので予めご承知ください。
- (3) 入賞・入選した作品については、新聞社等への発表用として写真の焼き増し並びに展示会用の引き伸ばし写真(カラー)の提供をお願いしますのでご承知ください。
- (4) 応募図書は返却いたしません。但し、入賞・入選・特別賞以外の応募図書で返却ご希望の方にはお返しします。この場合、送料は申込者の負担とします。
- (5) 中部建築賞協議会が、受賞作品を広く紹介するため関係資料を掲載・展示等の場合は、無償で使用できるものとします。